

福島と長崎を結ぶ集い

フクシマの今を考える

－ A L P S 処理水（トリチウム汚染水）を海洋放出させないために －

昨年、3月14日、日本政府は、事故を起こした福島原発で日々発生している A L P S 処理水（トリチウム汚染水）を海洋放出する方針を決定し、東京電力とともにそのための準備を着々と進めています。3月12日には現地、福島で「2022原発のない福島を！県民大集会」が開催されますが、最大の課題の一つが、A L P S 処理水の海洋放出です。

日本政府・東京電力は、事故の責任を放棄し、多くの関係者や国民が求めている「陸上での安全な保管」について、真剣な検討を行わず、漁業者をはじめ関係者との約束を反故にして、海洋放出を地元、福島県民に迫っています。もし、海洋放出されれば、福島のみならず全国の、そして世界の人々に、さらなる放射能汚染と被ばくを強いることになります。

被爆地ナガサキと現地フクシマを結んで、フクシマの今を考えます。

日 時：3月6日（日）14時～16時

場 所：長崎県総合福祉センター 3階 講座室

内 容：

報告①「フクシマの現状と課題－A L P S 処理水をめぐって」

佐藤龍彦さん（脱原発福島県民会議）ZOOMで参加

報告②「A L P S 処理水を海洋放出させないために」

振津かつみさん（チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西）

ZOOM参加

質疑応答・意見交換

参加費：無料

* 会場では、新型コロナ感染対策として、手指消毒、マスク着用などにご協力ください。

主催：福島と長崎をむすぶ会、長崎県被爆二世の会

連絡先 長崎県被爆二世の会 事務局長 崎山昇

090-2519-2066